

FUJITSU TEN

イクリップス9型ディスプレイナビ トヨタ アクア専用取付けキット

# NKTT-AQ2

## 取付説明書

車種名	年式	型式
アクア	H26年12月～現在	NHP10

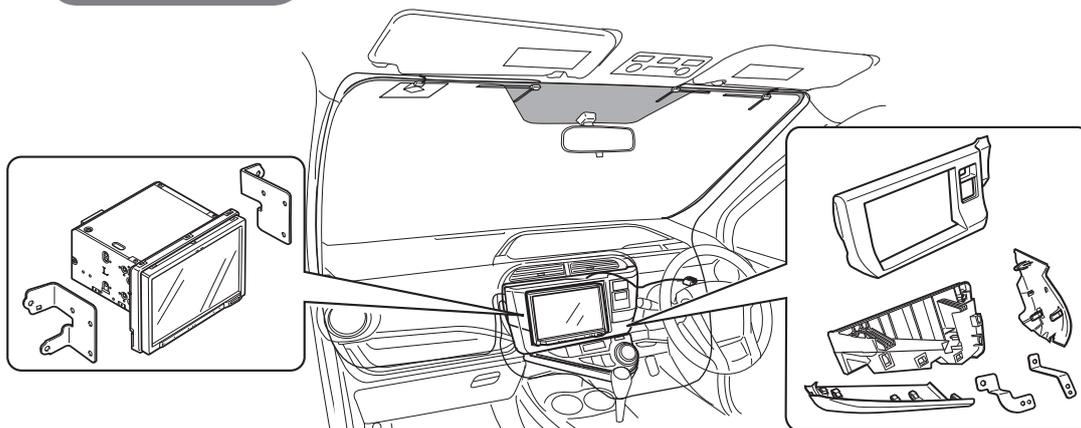
### お客様へのお願い

- この説明書はアクア専用です。また、本機の取り付けには車両部品の加工が必要です。(P11) 取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。
- 指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
- 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお勧めします。
- 安全運転のため、ご使用前に「取扱説明書」(ナビゲーション本体に同梱)、「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 「取扱説明書」(ナビゲーション本体に同梱)、「取付説明書」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

#### —販売店様へ—

- 取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。本機の取り付けには車両部品の加工が必要です。車両部品の加工については、必ずお客様にご確認のうえで作業を行ってください。(P11)

### 取付概要図



FUJITSU TEN

## ●目次

取り付ける前に	作業の進め方	2
	構成部品	3
	安全に正しくお使いいただくために	4
取付要領	接続のしかた 1	5
	接続のしかた 2	6
	車両部品の取り外し	7
	メインユニットを取り付ける前に	9
	メインユニットの取り付け	12

## ●作業の前に

- 取り付ける前に構成部品をご確認ください。
- 取り付けには、一般工具のほか、はさみやカッターナイフ、布きれが必要です。
- ねじやボルト、ナットの取り付けには、寸法の合う工具をお使いください。
- 別売の外部機器を接続する場合には、必ず指定品をお使いのうえ、各機器の取付説明書をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。

## ●作業の進め方

- 1) 構成部品の確認★  (構成部品 P3)
- 2) バッテリーの⊖端子を外す
- 3) 接続を確認する★  (接続のしかた 1・2 P5,6)
- 4) フィルムアンテナを取り付ける★
- 5) アンテナコードを配線する★
- 6) メインユニットを取り付ける  (メインユニットを取り付ける前に P9)
- 7) バッテリーの⊖端子を元に戻す
- 8) 設定および作動確認をする★

★印の項目については、ナビゲーション本体に同梱の取付け説明書を合わせてご確認ください。

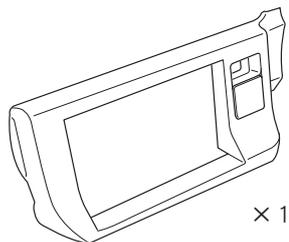
### 必要工具

プラスドライバー、マイナスドライバー、ボックスレンチ、リムーバー、クリップ外し、ニッパ、ニードルノーズプライヤー等

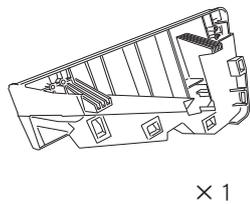
# ●構成部品

作業前に構成部品が揃っているか確認してください。

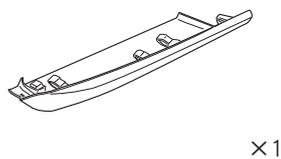
①専用パネル 1



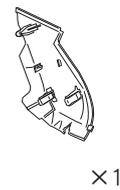
※1 ②専用パネル 2



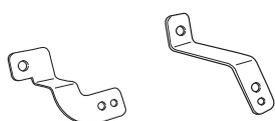
③専用パネル 3



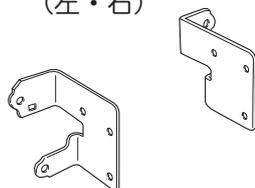
④専用パネル 4



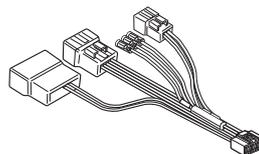
⑤補強ホルダ (左・右)



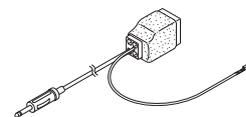
⑥取付ブラケット (左・右)



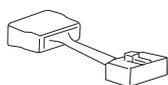
⑦接続コード



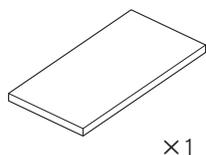
⑧接続コード



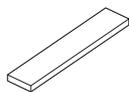
⑨接続コード



※2 ⑩ハーネス固定テープ



⑪異音防止テープ



⑫六角ボルト (M5×8)



⑬タッピングスクリュー (M4×12)



※1 ②専用パネル2の一部箇所には加工を行っており、クッションテープが貼られています。クッションテープを剥がさずにそのままお使いください。

※2 ⑩ハーネス固定テープはナビゲーション本体取付け時に使用します。ナビゲーション本体の取付説明書をご参照ください。

# ●安全に正しくお使いいただくために

お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

## ⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

## ⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

❗ : しなければならないことを表しています。

🚫 : してはいけないことを表しています。

⚠ : 注意をしなければならないことを表しています。

●本機取り付けのために必ず守っていただきたいこと、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。



### アドバイス

この表示は、本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと、知っておくと便利なこと、知っておいていただきたい内容を示しています。

## ⚠ 警告

- ❗ **本機はDC12V マイナスアース車専用です。**  
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしない。  
火災の原因となります。
- ❗ **取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス端子をはずす。**  
プラスとマイナス経路のショートによる感電や怪我の原因となります。
- 🚫 **本機を次のような場所には取り付けない。**  
本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしない。交通事故や怪我の原因となります。
- ⚠ **車体に穴をあけて取り付ける場合は、注意して作業を行う。**  
車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行う。火災の原因となります。
- ❗ **ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用する。**  
破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。
- 🚫 **車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。**  
保安部品を使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。
- 🚫 **本機を分解したり、改造しない。**  
事故、火災、感電の原因となります。
- ❗ **ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。**  
規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 🚫 **画面が出ない、音が出ないなどの故障状態で使用しない。**  
そのまま使用すると、事故、火災、感電の原因となります。
- ❗ **万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いが出るなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。**  
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 🚫 **エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機取り付けと配線をしていない。**  
車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行う。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると誤作動を起こしたり、交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、怪我の原因となります。
- 🚫 **電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。**  
電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- ❗ **接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁する。**  
ショートにより火災、感電の原因となります。
- ❗ **コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。**  
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくこと事故の原因となり危険です。

## ⚠ 警告

- ❗ **取付説明書で指定された通りに接続する。**  
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

## ⚠ 注意

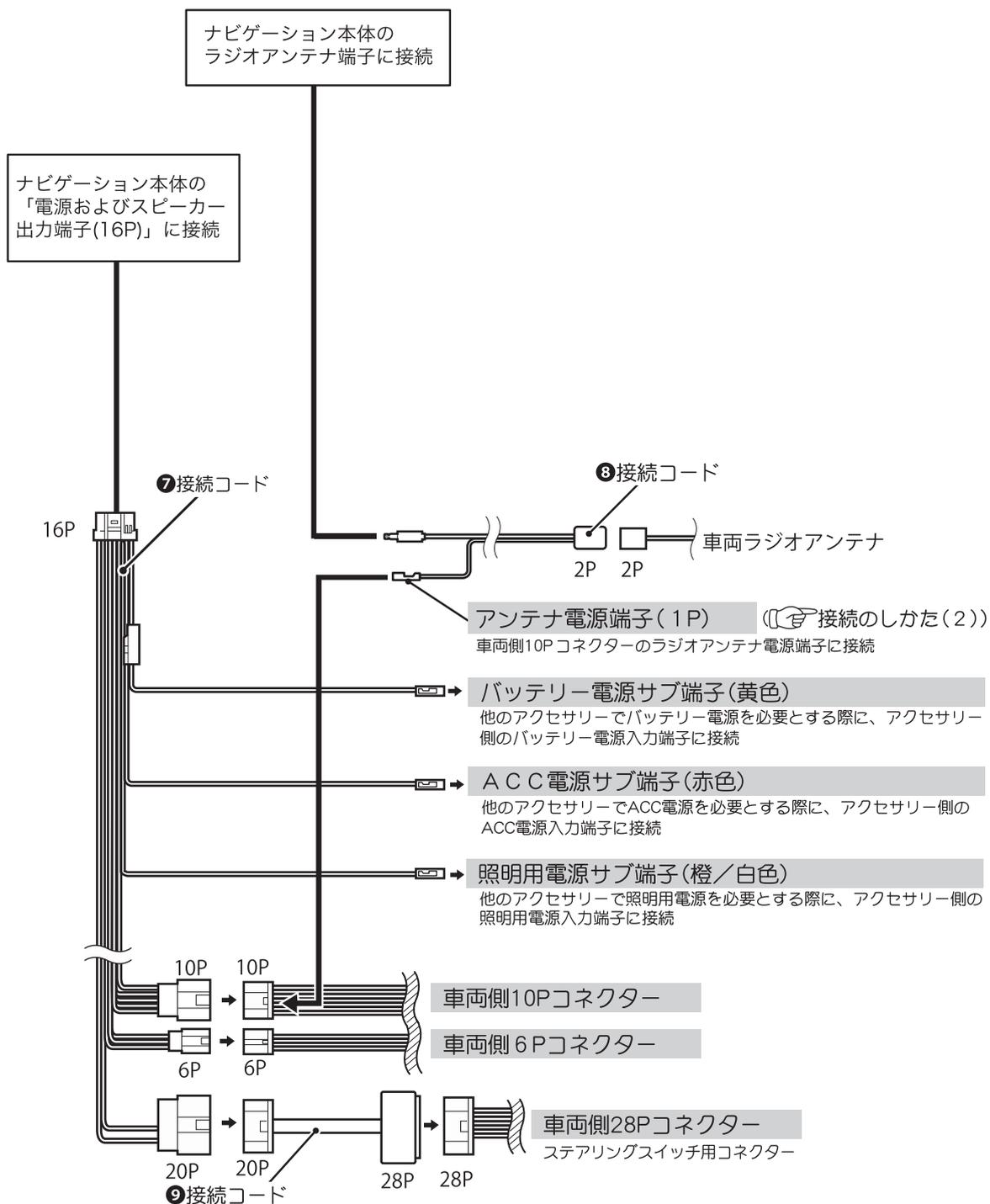
- ❗ **本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。**  
安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- ❗ **必ず付属の部品を指定通り使用する。**  
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できず外れることがあり危険です。
- 🚫 **雨が吹き込むところなどの水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避ける。**  
本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
- 🚫 **しっかりと固定できないところや振動の多いところへの取り付けは避ける。**  
本機が外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。
- 🚫 **直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところなどへ取り付けない。**  
金属部分が高温になり、火傷をする可能性があります。  
また、本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。
- 🚫 **本機の通風孔や放熱板、ファンをふさがない。**  
通風孔や放熱板、ファンをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- ⚠ **車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線する。**  
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- ❗ **コードが金属部に触れないように配線する。**  
金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。
- ❗ **コードの配線は、高温部を避けて行う。**  
コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。
- 🚫 **コード類を決して切断しない。**  
コード類には、ヒューズなどが付いている場合があるので、保護回路が動かなくなり、火災の原因となることがあります。
- 🚫 **電源用リード線をバッテリーに直接接続しない。**  
機器を動作させるための電流容量が不足して、バッテリーから直接、電源を取る必要がある場合はバッテリー専用配線キットを使用してください。
- ⚠ **コード等の車内への引き込みは、十分注意する。**  
雨、水の車内への浸入を防ぐためコード等の車内への引き込みには十分気をつけて作業を行ってください。車内に浸水すると、火災や感電の原因となることがあります。
- 🚫 **本機を車載用として以外は使用しない。**  
感電や怪我の原因となることがあります。
- ⚠ **本機取り付けには、車両部品の加工が必要です。**  
本機を取り付ける前の状態に復元するには、部品の交換が必要です。ただし、加工した車両部品については、車両メーカーの保証対象外となるおそれがあります。また、本書に従って車両部品の加工を行った結果による車両価値の変動や評価、車両メーカーの保証が受けられなかったことによる修理・交換費用等については弊社では補償いたしかねます。

# ● 接続のしかた 1

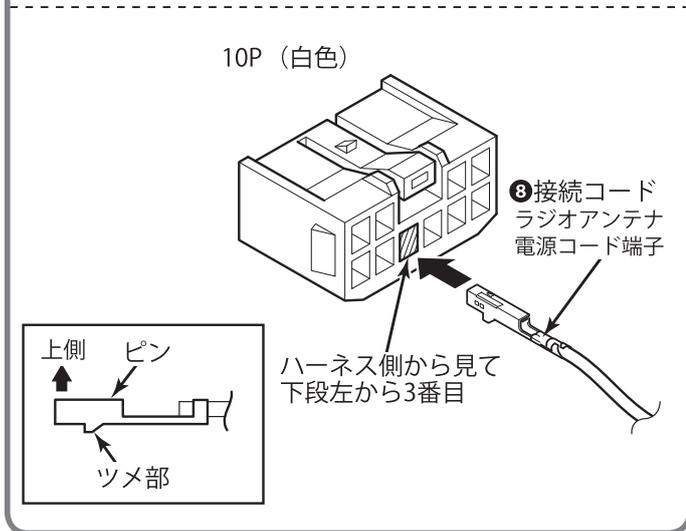
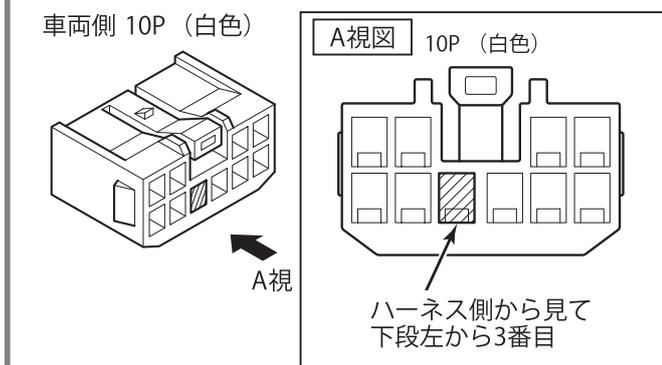
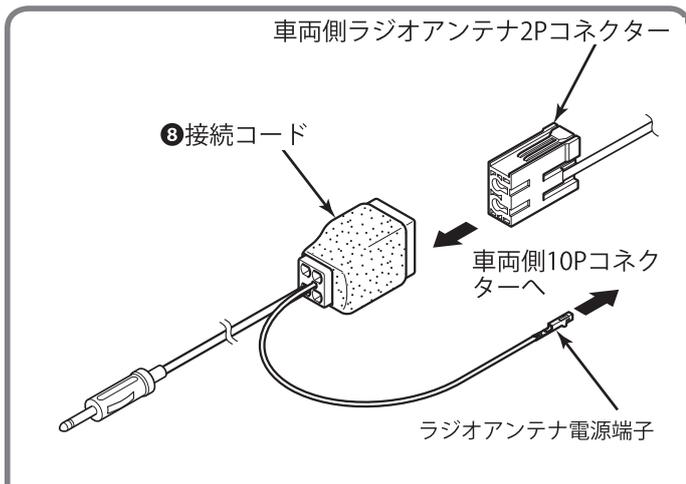
※詳しい接続についてはナビゲーション本体に同梱の取付説明書をご確認ください。

## ⚠ 注意

- 接続しない端子は、ビニールテープ等で絶縁処理をしてください。絶縁処理をしないとショートにより火災・感電の原因になります。



# ● 接続のしかた2



## ■ ⑧ 接続コードの接続要領

1. ラジオアンテナ2Pコネクタと接続コードを接続する。

2. 車両側10Pコネクタのアンテナ電源端子 (左図参照)へ接続コードのラジオアンテナ電源端子を差し込む。

### 🔧 アドバイス

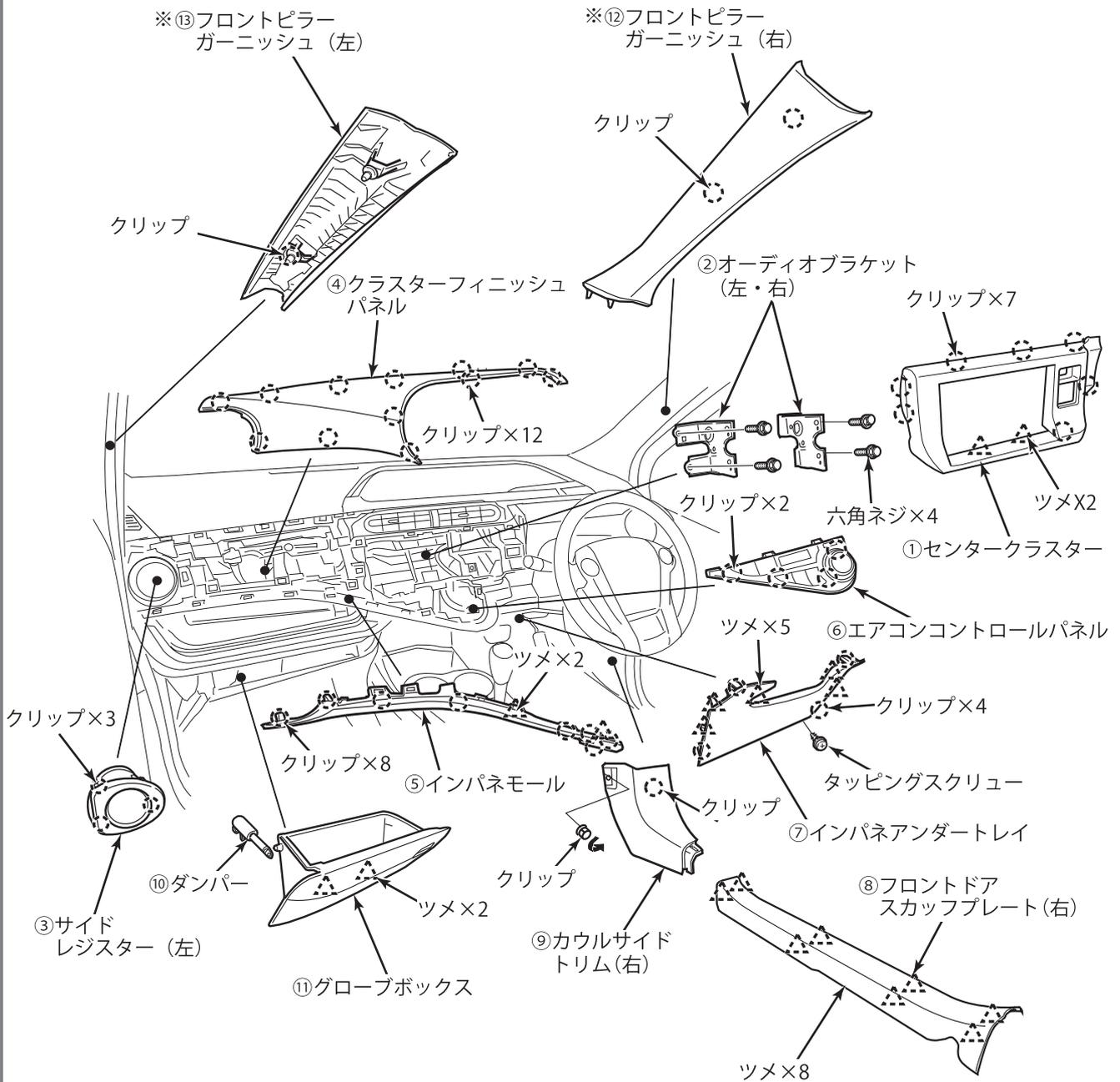
電源コード端子は「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だとラジオアンテナが正常に動作しない恐れがあります。

# ●車両部品の取り外し

● 下図に示す内装部品を取り外します。番号順に取り外してください。

## 📌 アドバイス

※カーテンエアバッグ付車の場合、フロントピラーガーニッシュの取り外しと復元要領はP. 9を参照してください。



## ⚠️ 注意

- キズ防止のため、要所をマスキングテープ等で保護してください。
- ネジおよびクリップ等の紛失に注意してください。

## ■フロントピラーガーニッシュの取り外しと復元要領（カーテンエアバッグ装着車の場合）

### 1. フロントピラーガーニッシュを取り外す。

#### ⚠ 注意

- 車両側に残ったテザークリップは取り外さないでください。
- テザークリップを車両から取り外した場合、必ず新品のテザークリップに交換してください。

#### 🔧 アドバイス

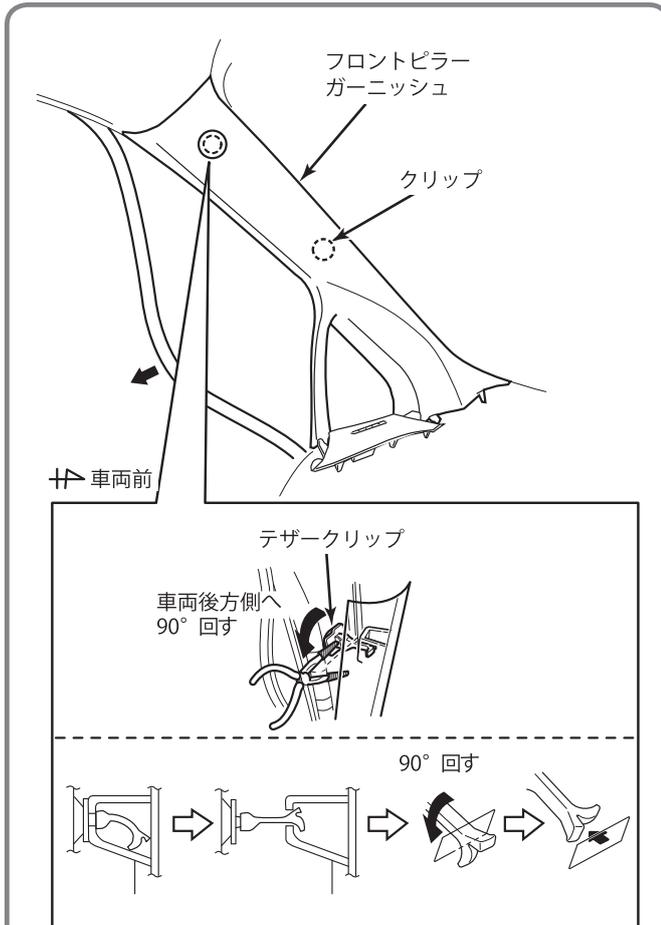
- 図中◎で示すテザークリップを取り外す際は、フロントピラーガーニッシュを浮かせた状態にして先端を保護したニードルノーズプライヤーでテザークリップを90°手前（車両後方側）へ回し、取り外してください。
- 車両部品にキズをつけないよう十分注意して作業を行ってください。
- 図は左側の図を示しています。右側も同様に作業を行ってください。

### ■復元要領

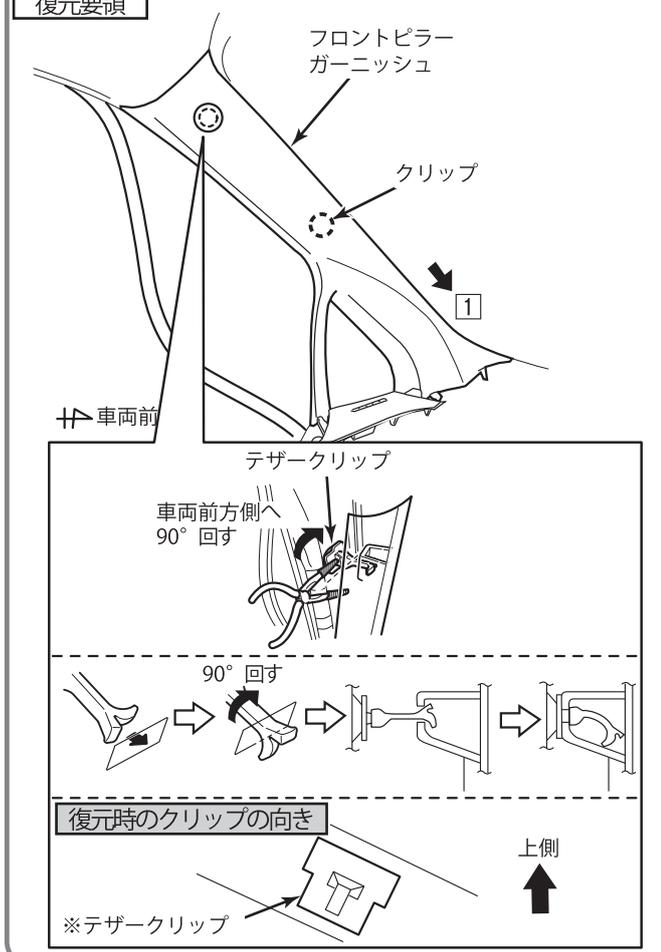
#### ⚠ 警告

復元作業後、フロントピラーガーニッシュが浮きなく取り付けられていることを確認してください。フロントピラーガーニッシュに浮きがある場合は、クリップ及びフロントピラーガーニッシュの嵌合が不十分であり、カーテンエアバッグ展開時にフロントピラーガーニッシュが外れる恐れがあります。

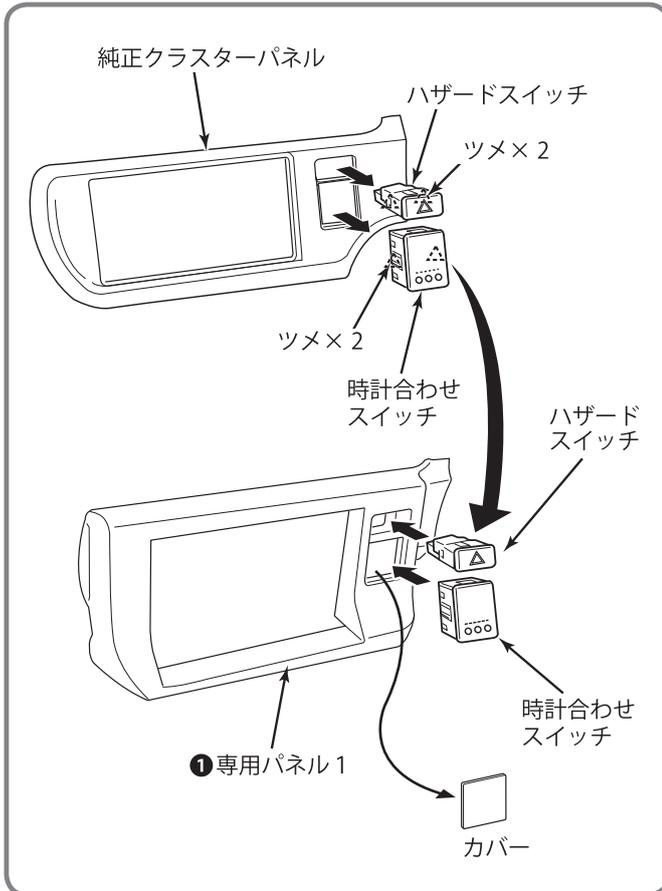
1. 矢印①方向へ押し、ガイドを入れる。
2. テザークリップをフロントピラーガーニッシュに差し込み、ニードルノーズプライヤーを使用してテザークリップを90°奥（車両前方側）へ回す。
3. テザークリップ（※印）が左図の向きになっていることを確認する。
4. クリップおよびテザークリップをかん合させフロントピラーガーニッシュを復元する。



#### 復元要領



# ●メインユニットを取り付ける前に

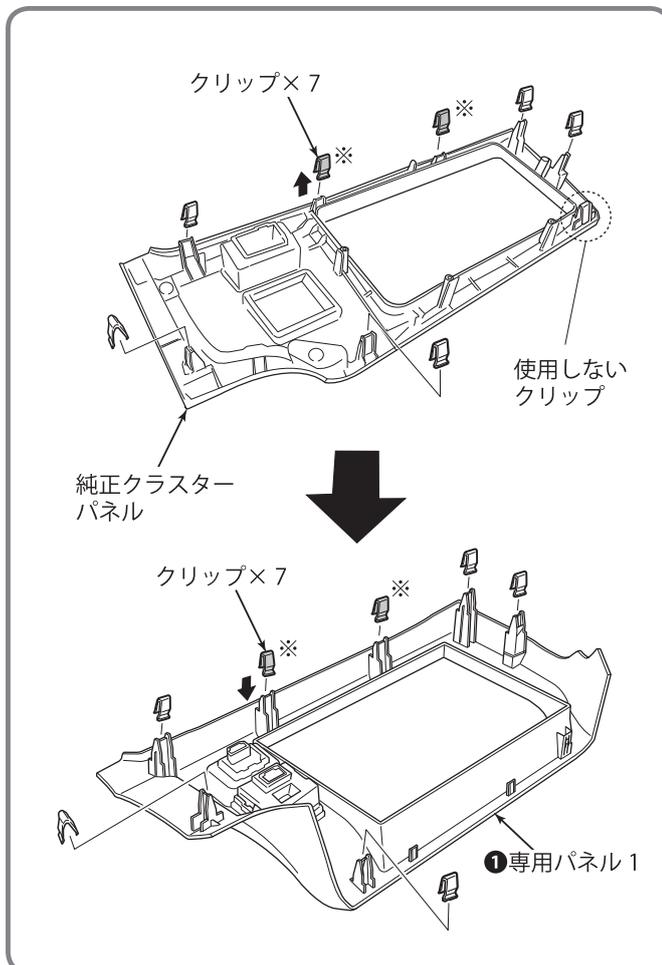


## I 車両部品の移し替え

1. 純正クラスターパネルにある時計合わせスイッチおよびハザードスイッチを取り外し、専用パネル1に取り付ける。

### 📌 アドバイス

- 純正オーディオパネルは、使用しません。お客様で大切に保管してください。
- ☒は時計合わせスイッチ付きパネルを示しています。時計合わせスイッチが無いパネルはハザードスイッチのみ移し替えてください。



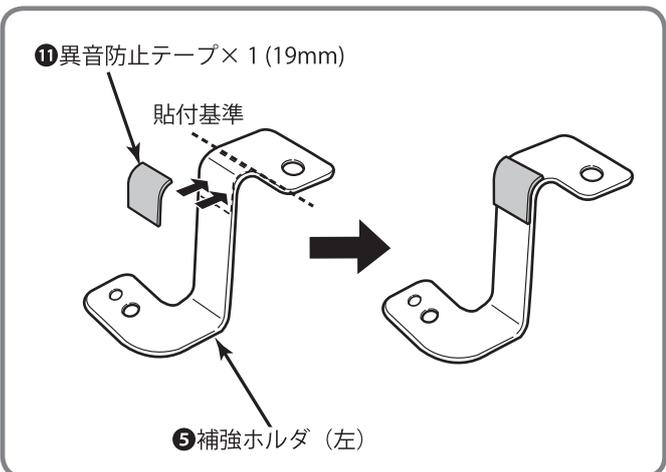
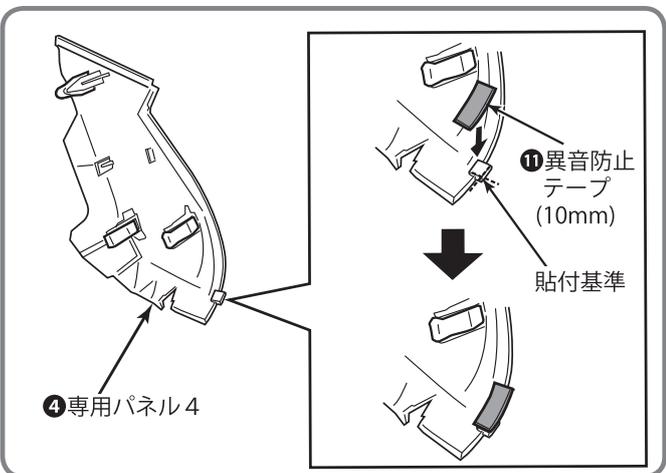
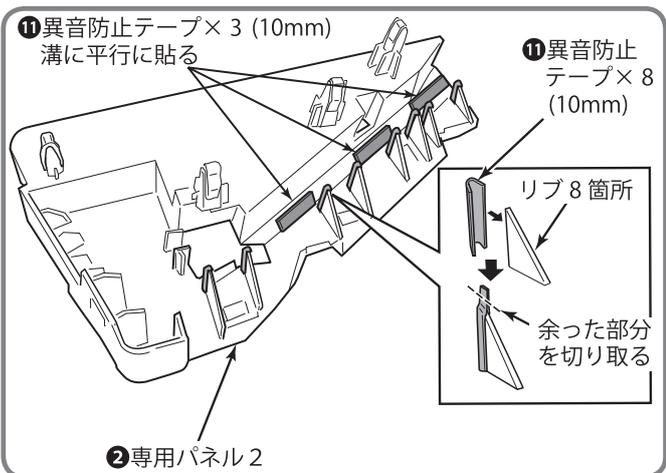
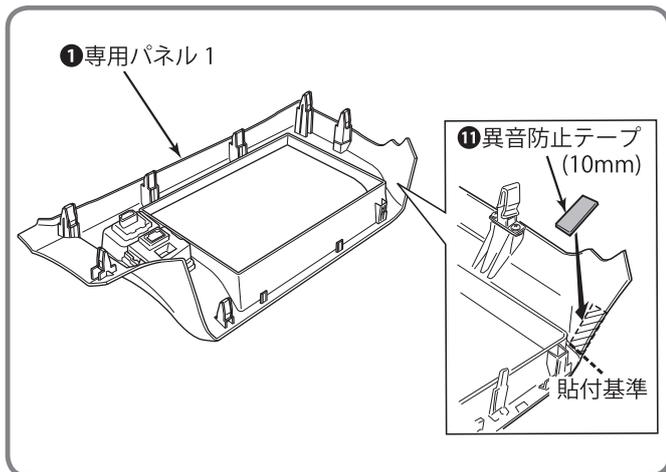
2. 純正クラスターパネルにあるクリップ7ヶ所を取り外し、専用パネル1に取り付ける。

### 📌 アドバイス

- 純正オーディオパネルおよびオーディオブラケットは、使用しません。お客様で大切に保管してください。

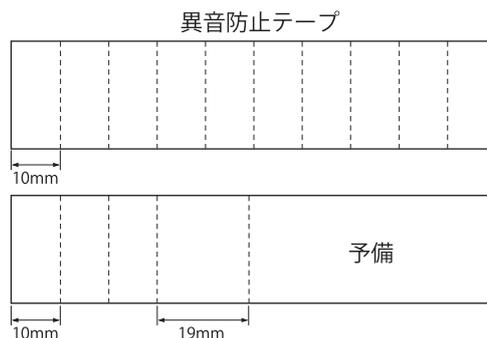
### ⚠️ 注意

- ※印のクリップ(黄色)は他のクリップと種類が異なるため、注意して下さい。
- ※印のクリップには向きがあります。必ず元の向きに取付けてください。



## 2 ①異音防止テープの貼り付け

1. 専用パネル 1 に異音防止テープを貼り付ける。



※異音防止テープを10mm幅13枚、19mm幅を1枚ハサミ等でカットしてください。

2. 専用パネル 2 に異音防止テープを貼り付ける。

### ⚠ 注意

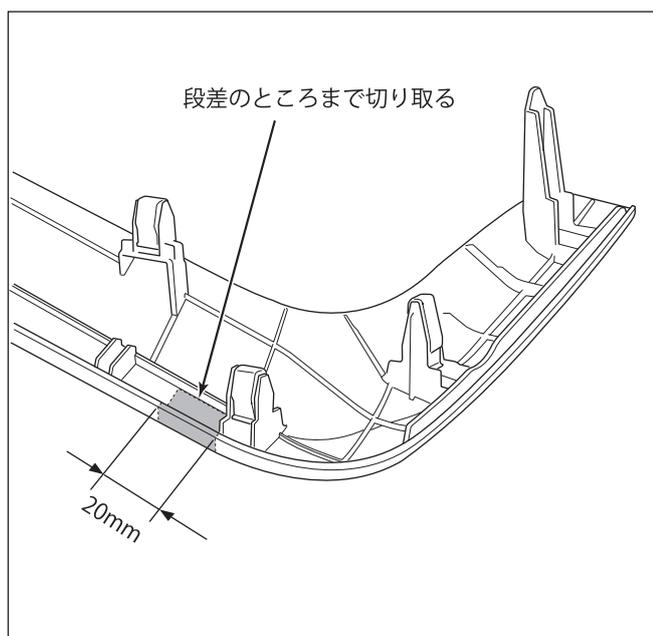
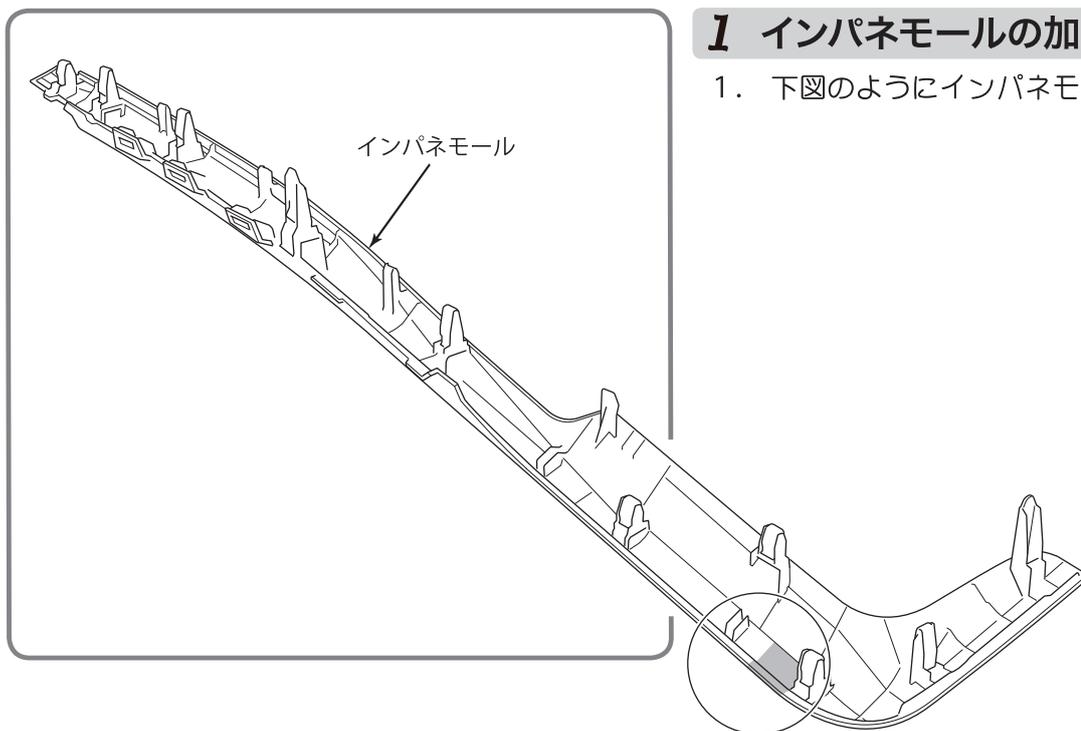
〈貼付けについて〉  
専用パネルのリブを覆い隠すようにして異音防止テープを貼ってください。

3. 専用パネル 4 に異音防止テープを貼り付ける。

4. 補強ホルダー (左) に異音防止テープを貼り付ける。

## I インパネモールの加工

1. 下図のようにインパネモールの一部を切り取る。

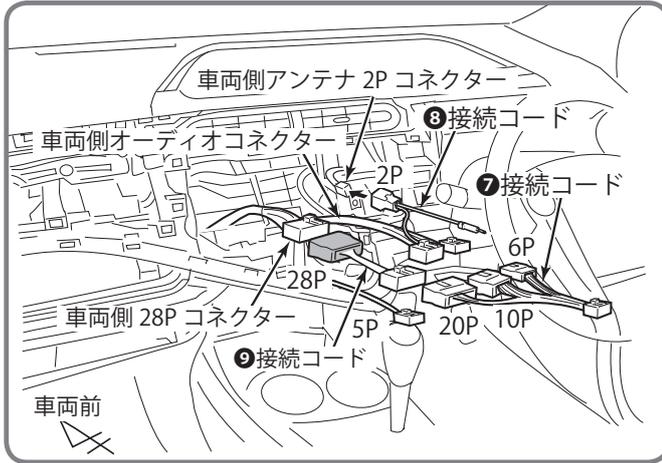


\*加工位置をサインペンやマスキングテープ等で印をすると作業がしやすくなります。

### ⚠ 注意

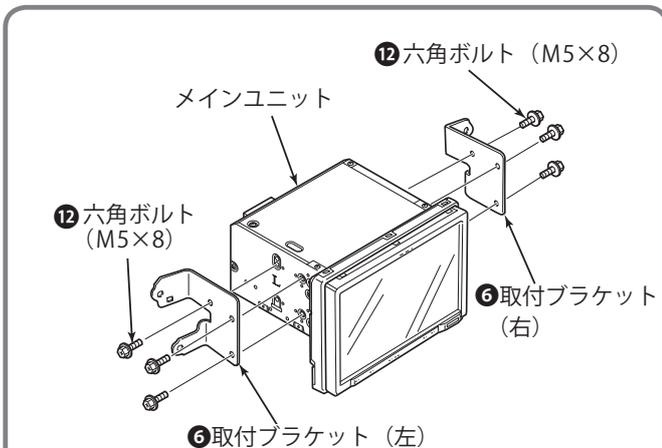
- 加工した車両部品をもとの状態に復元するには、部品交換が必要になります。
- 加工した部品については、自動車メーカーの保証対象外となるおそれがあります。また、車両部品の修理・交換については、弊社では補償できません。

# ●メインユニットの取り付け



## 1 接続コードの取り付け

1. オーディオ開口部の車両側28Pコネクターに接続コードを接続する。
2. 接続コードの20P、10P、6Pのコネクターを接続する。  
(P.5～6「接続のしかた」参照)



## 2 メインユニット本体の取り付け

1. メインユニットに取付ブラケット(左右)を取り付ける。

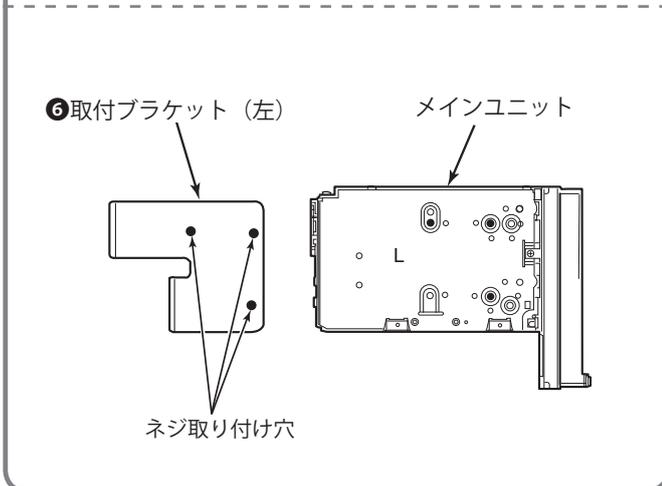
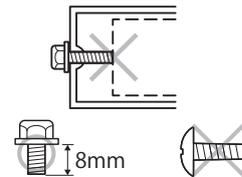
### ⚠ 注意

ブラケットの取付穴位置は、図の●印の位置を使用して取り付けてください。  
(図は左側を示しています。右側も同様に作業を行ってください。)

### お願い

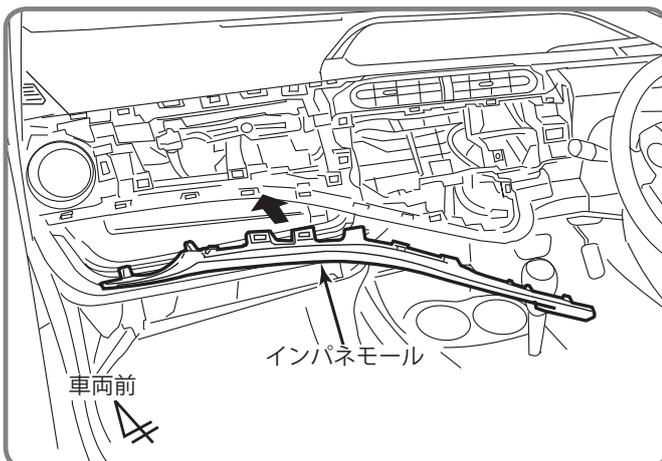
- 必ず付属のねじを使用してください。

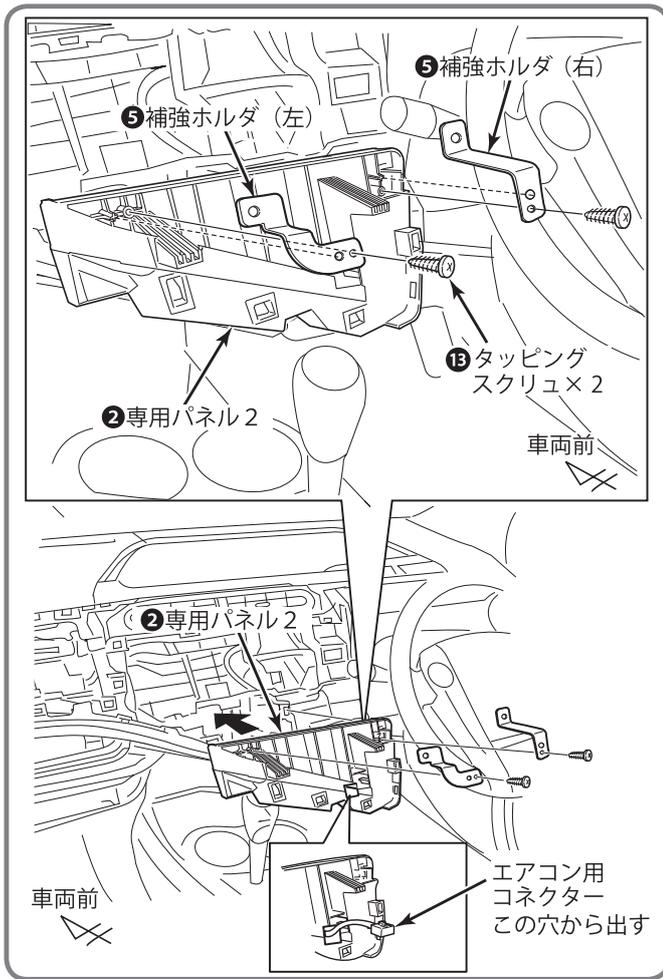
取付ねじは、必ず付属のねじ(M5×8)を使用してください。指定のねじ以外を使用すると機器の内部が損傷するおそれがあります。



## 3 専用パネルおよびメインユニットの組み付け

1. インパネモールを取り付ける。

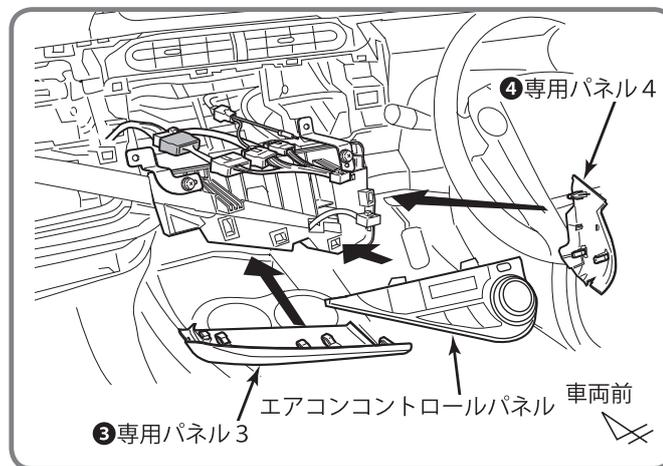




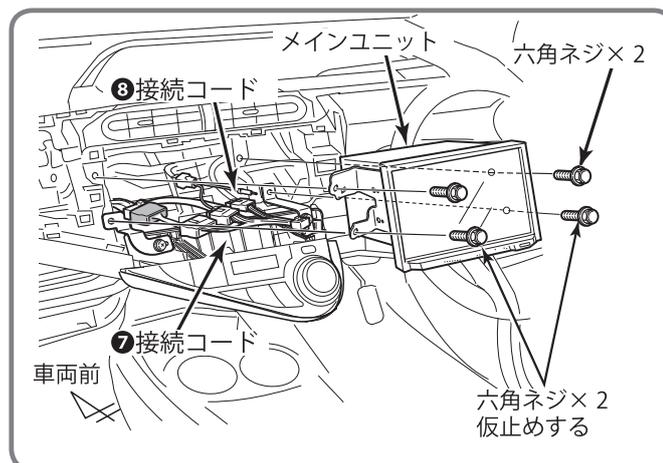
2. 専用パネル2を車両側に取り付ける。
3. 補強ホルダ(左・右)をタッピングスクリユで専用パネル2に取り付ける。

#### 📌 アドバイス

- 専用パネル2を組み付けながらエアコン用コネクターを穴に通してください。
- 補強ホルダの上部止め付穴は、メインユニットと共締めします。



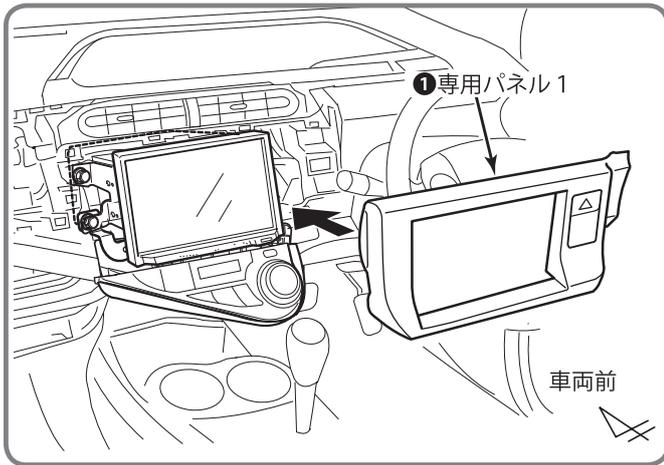
4. 専用パネル4を取り付ける。
5. エアコンコントロールパネルを専用パネル2に取り付ける。
6. 専用パネル3を取り付ける。



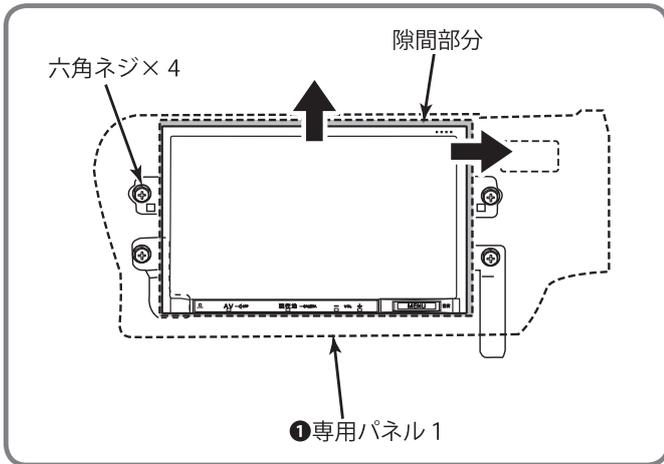
7. メインユニットに接続コード、ラジオアンテナ、GPS・TVアンテナコードオプション5Pコード接続する。
8. メインユニットを車両に取り付ける。

#### 📌 アドバイス

- 各接続コードを車両側の空いたスペースに逃がしながらメインユニットを取り付けてください。
- メインユニットを取り付ける際、下側の六角ネジは仮止めしてください。
- ⑥取付ブラケットの下側の六角ネジは⑤補強ホルダと共締めしてください。

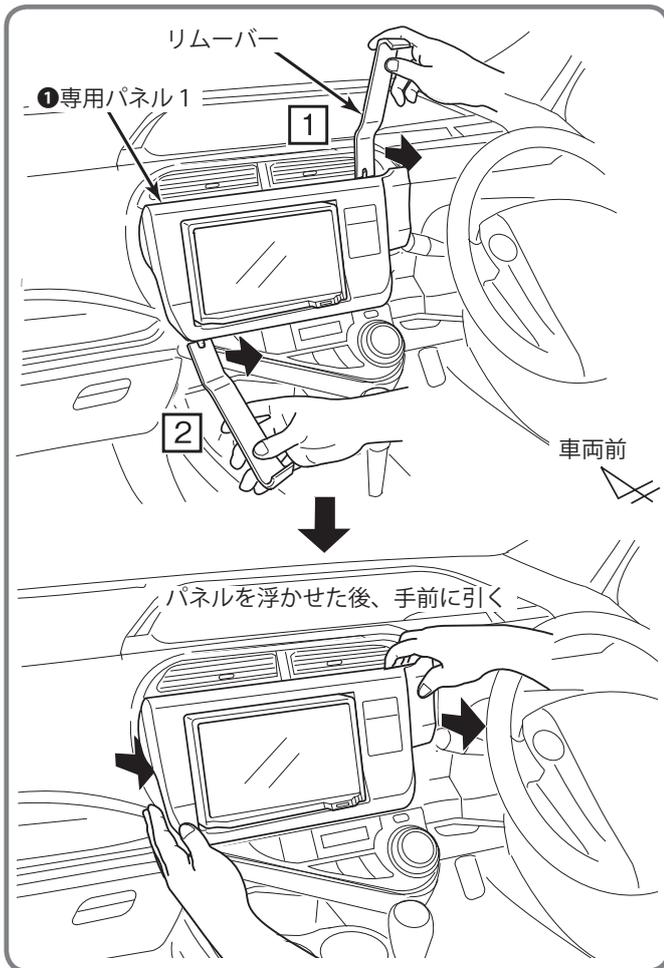


9. 専用パネル1を取り付ける。



 アドバイス

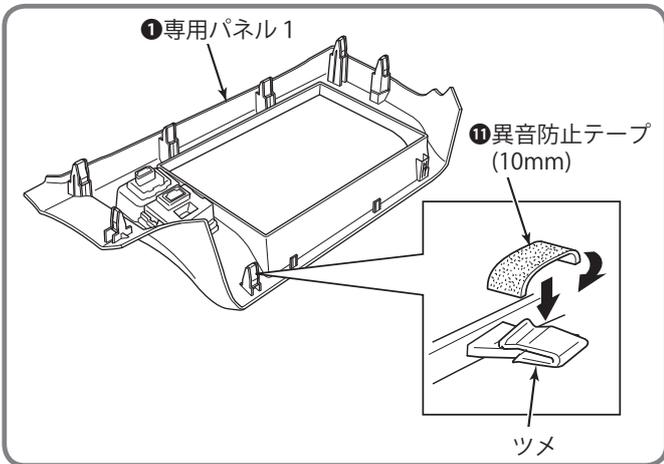
- メインユニット取付後、専用パネル1とメインユニットの隙間が均等であることを確認してください。隙間が均等でない場合はメインユニットと車両を取り付ける六角ネジを緩めて、上下左右の隙間が均等になるよう調整して取り付けてください。
- ディスプレイをチルトさせ、専用パネル1とディスプレイが接触しないことを確認してください。
- 専用パネル1を取り付ける際、下側から組み付けますと取り付け易くなります。



## 専用パネル1の取り外し方法

### 📌 アドバイス

専用パネル1を取り外す場合、左図のように取り外してください。  
無理に外すとツメが割れるおそれがあります。

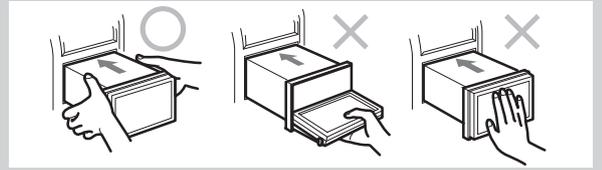


10. 専用パネル1を車両に取り付けた際、ツメ部分がガタつく場合があります。その場合は異音防止テープをツメ部分に巻いて取り付けてください。

## お願い

- ディスプレイを手で押さえないでください。

車両に取り付ける際、メインユニットのディスプレイ(表示部)やボタンを強く押さないでください。ディスプレイ(表示部)やボタンが破損する恐れがあります。



- パネル保護シートはメインユニットを車両に取り付け、動作確認後に取り外してください。

ディスプレイに傷を付ける恐れがあります。

